

異文化間コミュニケーション 研究法入門

Introduction to cross-cultural communications
& research method

⑥ 価値観とコンフリクトマネジメント

H21年度前期群馬大学教養科目
担当：園田智子（群馬大学留学生センター専任講師
留学生アドバイザー）

価値観の違い

・文化の違いは表面上はことばの違い、非言語の違い、習慣の違いに見えますが、根を探っていくと価値観の違いにたどり着きます。

「価値観」=その文化が、価値のあるもの、変えてはならない大事なものと信じているもの。

→Q.皆さんはどんな価値観をもっていますか？

例：人々は_____べきだ。

人は_____てはいけない。

基本的価値志向

Try! セルフチェックZ(109)に挑戦してみましょう。



	A	B
I 人間の本質	悪である	善である
II 人間と自然	人間が自然を克服	自然との調和
III 人間と時間	未来	過去
IV 人間と活動	する	ある
V 人間と人間	個人	集団

コンフリクトマネジメント

毎日の生活の中で、利害が衝突するとか、意見が対立するということはよくあることです。そのようなとき、私たちはどのような行動に出るのでしょうか。

Try! セルフチェック(P117)意見の相違への対処パターン

競争	共同	妥協	逃避	融通

競争

相手を負かして自分の主張を通す

回避

問題に直面するのを避けたり伸ばしたりする

融通

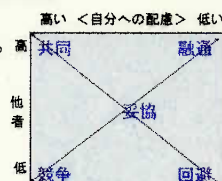
相手の要望を受け入れ自分の要望を取り下げる

妥協

相手が譲った分、自分も譲る。痛み分け。

共同

相手と自分で共同で問題解決する。



再び異文化適応力

自分の異文化適応力の強い部分、弱い部分を知ることは、様々な文化の人と交流する際に役に立ちます。自分の弱い部分をトレーニングすることも出来ます。

→大事なことは「知識」「感情」「行動」のバランスです。

Try! 異文化適応力チェック(ICAPS準拠)をしてみましょう。

異文化適応の型

①自己文化肯定・他文化否定型

自文化中心主義的で、相手を批判する。相手国で不適応を起こしたり、相手国人とトラブルが多い。

②自己文化否定・他文化肯定型

他文化を賞賛し、自文化を卑下する。アイデンティティに問題が起こる。

③両文化不在型

自文化も相手文化も気に入らない。自分本位の考え方。居場所がなく、いくつもの国をさまようことも。

④両文化肯定型

自文化、相手文化と十分理解する。双方に配慮し、良い点を生かせる。

異文化適応にかかわる要因

1)感情制御

マイナスの感情をしっかり受け止め、コントロールし、そのサイクルを止め、前向きな生活に結びつける意志力。

2)オープンな心

自分と違う価値観を認められる。自分と違う見方を理解できる。いろいろなことに興味を持ち、知りたいと願う気持ち。

3)柔軟性

いろいろな経験をする。いろいろな人との出会いを楽しめる。その人からまなぶことができる。

4)自己受容力

不完全な自分を受け止め、自分を信じ、自分を高めていこうとする。

±自己主張力?